

■郡山市活動報告■

1.実施日 : 2011年5月24日(火曜日) 15:00～17:30

2.実施場所 : ビッグパレット

3.実施対象者 : 東京電力原子力発電所事故による避難している、富岡町、川内村の方々

4.実施者 : 日下部晶子 羽田美奈子

5.実施日の状況 : 今だ1000人近く非難されている状況。2日前にそれぞれの家族ごとにダンボールで高めの壁が作られたとの事。以前と比べ随分プライバシーの守られた状態に改善されていた。

運営している側も、随分整理、改善されていた。

ボランティア受付に行くとその受付も移されていた。新たに設けられた受付へ行ってみると、ボランティアには新たに登録が必要でありヨガ療法と告げると、医師、看護師、保健婦さん以外の方の避難していらっしゃる方への運動の指導は自粛してもらっているとの事。

ボランティアによる運動指導後、様態の急変された方がいらっしゃったそうでそういう決まりになったそうである。

また個々に廻る傾聴も、「色々なボランティア団体が押しかけ同じ話ばかり聞かれて疲れる」といった苦情が住人の方から出てそういったことも自粛して貰っているといったお話であった。

ボランティア保険にも加入してあったが、賠償責任の曖昧な部分もありそこを懸念されていた。

ヨガ療法がどういうものであるかお話しすると、保健婦さんと相談してほしいとその事務所に案内された。

前回までの様な、避難されている方への個々のアプローチは、その後体調が急変した際に責任問題、保険問題が複雑になるのでやはり自粛してほしいとのこと。

ただ、どこか空いているスペースに希望者を募るのであれば、そうして医師のいる時間帯で有ればとの話の流れになった。

ビッグパレットの事務所で場所の確保を依頼してほしいとそちらの事務所へ案内された。

だがボランティアの方への場所の確保などはしておらず、やるのであれば、当日空いている場所で行ってほしいとの事。どこで何をするというアナウンスは1回限りで流してくれるそうである。

この日は2:00～歌のコンサート、また3:30～矢代亜紀の訪問などで盛り上がっている人々と高い段ボールの壁の奥で丸くなって寝ているかた・・・と対象的な姿がみられた。

帰り際に、今までのボランティアで顔見知りになった富岡町の86歳のあばあちゃんのところへ、前回取りつけたダイケアマネージャーさんとの面接結果を聞きに伺った。残念ながら期待していたサービスは受けられるようにはならなかったとの事。

「自粛をお願いしている」といった中で、それでもなおヨガをさせていただくべきかどうか。こういう状況になりボランティアを続けていく難しさを感じた。